

井原すがこ

令和5年  
6月定例会

No48

2023年7月

討議資料

# 県議会報告

## 背景や問題点

前回の県議会における教育長の答弁は曖昧で要領を得ず、県民に対する説明責任を十分に果たしていません。そこで、再度、高森みどり中学校の廃止の理由などについて、具体的に質しました。

## 地元への説明を

## 高森みどり中学校の廃止について



答弁

県立高校の再編  
整備は、定員割れ  
するかどうかとい  
う観点だけではなく、地域  
の人口規模や今後の児童数

質問

周南や柳井などから  
の入学者も多く、  
旧岩国市は全体の2  
割、10人程度です。  
一部が岩国の中高一貫校に  
流れたとしても広域からの  
補充は可能であり、直ちに  
定員割れすることはないと  
思います。

答弁

県立高校再編整  
備計画（高森み  
どり中学校の廃  
止も含む）の素案  
を公表した際に、生徒には  
保護者には学校から文書に  
より周知しており、改めて  
説明することは考えていま  
せん。

質問

PTAや保護者、  
同窓会など地元の方の強い要望です。  
教育長が直接、生徒や保護者に廃止の理由をきちんと説明する機会を設けて下さい。



の減少を踏まえて、岩国地  
域では県立中学校1校が妥  
当であると判断しました。

第15回

## すがこと話そう！

日時 23年8月6日（日）

場所 岩国市民文化会館 第1研修室

午前10時から12時

広中英明市議参加



当初は「2校分の定員維持は困難」としていました

が、今回は答える窮状であります。廃止の理由をきちんと説明できないようでは、誰も納得できません。引き続き、地域のみなさんと一緒に強く反対していきます。

## 背景や問題点

最近、各種選挙の投票率の低下が著しく、このままでは民主主義の危機と言つても過言ではあります。そこで、投票率の向上に向けた対策について質しました。

## 投票率の低下について

### 質問

今回の県議選の投票率は40%、12年前に比べて12ポイント急降下し、若者の投票率は20%にも満たない状況です。今後、投票率の向上に向けてどのような対策をとるのですか。

### 答弁

若者の政治や選挙に関する関心を高めます。また、商業施設等へのバス車両等を活用した移動の期日前投票所の大学等での取り組んでいきます。

### 答弁

開設など、地域の実情に応じた取り組みを強化します。身近な選挙の例や若者の投票率の低さを取り上げ、投票は国民の権利であるとともに義務であるという意識を育てるなど、実際の投票率の向上に結びつく教育を積極的に行うべきです。

### 質問

投票率は40%、12年前に比べて12ポイント急降下し、若者の投票率は20%にも満たない状況です。今後、投票率の向上に向けてどのような対策をとるのですか。

### TOPIC

#### 一般質問の回数制限

4月の改選により、新人議員が47人中9人になり、私も4期目を迎えました。一方答弁に立つ県職員の顔ぶれも変わりました。

議員会派の構成も大きく変わり、私を含む一人会派がこれまでの4から7となりました。

そのため、これまで毎回の定例会で一般質問ができていたものが、回数制限を受けることとなり、とても残念ですが、私は年4回のうち3回しか質問することができないことになりました。これに伴い県議会報告の発行方法も再検討しますので、ご理解下さい。

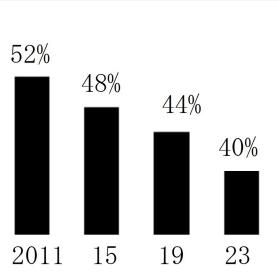
#### 井原すがこ後援会事務所

郵便 740-0017  
住所 岩国市今津町  
4-11-20  
ユーホーム本館 1階  
電話 0827-21-9808  
お気軽にお立ち寄り下さい



のコメント

#### 投票率の推移（県全体）



投票率3割では、当選しても有権者の信任を得たとはとても言えません。政治の側からも若者に接触する機会を増やす必要があると痛感しています。教育を通じて若者の政治への関心を高めている諸外国の例も参考に、教育にも力を入れる必要があります。



## 傍聴席

知人から誘われ2回ほど県議会を傍聴した。支持政党もなく平々凡々と生活してきた者にとっては、本物の議会はどれ程か

と期待していたが、思いのほか盛り上がりに欠けると思った。（国

会予算委員会の聴き過ぎ？）

一人の人間にも、国民、県民、市民それぞれの立場があり、意見を持っているはず。それらの人の代表として、県民のよりよい生活を願い、陳情を受け、話を聞き、親身になつて活動し、何かできることはないかと一生懸命勉強し行政側に働きかけ、再質問、再々質問をされている議員も

立派な議場、高級車、田舎切捨て、高額な政務活動費、これらすべてが住宅ローンと子育てに追われ、中古車しか買えない中小企業で働く人間の血税だと思うと・・・。

周南市在住パート介護職 61歳

いる。そんな中、3月と6月の議会では、みどり中学校、

センチュリー問題に関しても答弁を濁らせ、知事、議長、部長においては、一言も私見を発することなく終わってしまった。